

畜産クラスター事業の 推進と専決処分に関する 調査特別委員会

第7回

一、調査年月日

平成29年11月6日

二、調査項目及び結果

取りまとめの経過を改めて各委員に報告し、継続調査となりました。

行政視察 調査報告

総務厚生常任委員会が道外行政視察調査を行いましたので、内容をお知らせします。

1 派遣委員

委員長 大野 一 男
副委員長 本 多 浩
委員 梶 田 道 廣
大 湯 圓 郷
平 澤 等

2 日程

11月20日～22日（3日間）

3 目的

当町において、「みんなで作るまち」の推進を掲げ、町民が自ら考え、実践し、町内会活動の自主性と活性化を図るための事業を行っているが、「協働のまちづくり」を柱とし、地域コミュニティの自主活動支援に力を入れている五城目町の政策を今後まちづくりの参考とするため、行政視察を実施する。

◎視察先

◇秋田県五城目町役場、地域活性化支援センター◇

1 調査事項

- ・協働のまちづくりについて（町内会ビジョン等）
- ・自主防災組織について
- ・五城目町地域活性化センターについて（現地視察）
- (1)協働のまちづくりについて（町内会ビジョン等）
- 五城目町は当町と人口規模

高齢化率が似ており、40年後の将来推計人口は4,000人程と予想され、人口減、高齢化ということで、これからのまちづくりに関しては大変難しい状況にある。こうした中で、各町内会をベースとしながら県と共同での事業を展開し、「元氣と安心で幸せを実感できる町づくりプログラム」を作成し、地域課題に取り組んでいる。

(2)自主防災組織について

自主防災組織は町内会単位で結成し、現在、国の委託事業としてリーダー育成事業にも取り組み、組織率の推進を図っている

また、自主防災組織の活動の経費的な面からも町側から支援があり、資器材の購入については宝くじの助成金を活用している。

(3)五城目町地域活性化支援センター（現地視察）

目的としては廃校後の旧校舎の有効活用を行い、雇用を生み出すということで設立さ

れた。

地域おこし協力隊の活動拠点にもなっており、町の特産品を使った6次産業にも取り組んでいる。

首都圏等からの様々な業種の方々が入居し、活動を行っていることから交流の場としても利用されている。

2 調査結果

今回の研修を通して、協働のまちづくり、自主防災への取り組みについて、町民の意識の高さが伺えた。

これは、町内会の自主活動推進や地域おこし協力隊をうまく活用しながら取り組んでいるためと思われる。

町内会の活発な活動が意識の高揚に繋がると思われることから、当町としても、地域を支える仕組みづくりや、議員としても積極的に町内会等に入り込んで支援活動を行うことなど、真剣に考えていかねければならないと感じた。



視察中の様子